

AAALA ニュース 第 151 号

内容紹介

01 ムセベニ大統領の NAM 首脳会議の開会挨拶

1 月 19, 20 両日ウガンダの首都カンパラで開かれた第 19 回非同盟首脳会議。議長国の大統領が開会演説を行い、非同盟の力が世界を変えると強調した。アフリカの解放運動をバックにしたユニークな挨拶全文。

02 ラマポーサ「ガザの大虐殺 = 私たちは行動する義務がある」

国際司法裁判所 (ICJ) は、イスラエルにたいしジェノサイドを防ぐあらゆる措置をとれと命じる仮処分の判決をだした (1/26)。提訴した南アのラマポーサ大統領が国民にむけて演説し、「勝利」の意義と行動を訴え。

03 V・プラシャド「グローバルサウスの新たな高揚」

ハバナの三大陸社会研究所長をつとめる国際ジャーナリストが、アメリカ帝国主義の危険な展開の分析に基づいて、台頭するグローバルサウスの意味と対立の構造をインタビューで解説している。

04 大西広「100 年後の日本人口、政府の予測は非現実的」

反響を呼んだ「人口ゼロの資本論」の著者が、少子化の真の原因を直視しない政府の 100 年後人口予測と対策を批判し、警鐘を乱打している。

05 日本 AALA 「政府は UNRWA 資金供出停止を撤回せよ」

パレスチナ難民救済事業機関 (UNRWA) への追加資金拠出の停止は妥当なのか。イスラエルの無差別攻撃によるガザの人道危機の救済が求められているときに。日本政府への抗議を発出。

06 その他の記事は「鈴木頌 AALA ニュース編集日記」で参照できます ([aala_ の編集日記 \(livedoor.jp\)](https://aala_.livedoor.jp/))

